

第6号
児童数 330名
(男189名女141)

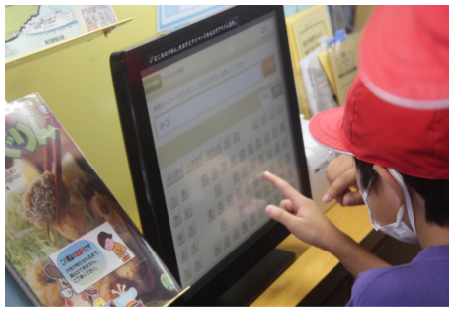


のぶっ子

みんなが主役・みんなで学ぶ学校

あいことば: あいあい大作戦 スローガン: やさしく かしく たくましく

Tel :0299-66-2076
Fax:0299-66-4692
E-mail:nobukata-el
@itako.ed.jp
URL:https://www.itako-sch
ool.jp/nobukata-el/



3年生が校外学習でセイミヤへ行きました。見学や説明を通して、お客さんに喜んでもらうための多くの工夫を知りました。

2年生が潮来市立図書館に行きました。職員の皆様にたくさん質問して、工夫や努力を知ることで、図書館の役割を理解しました。

6年生が潮来市社会福祉協議会の皆さんの協力で、車椅子体験をしました。少しの段差でも乗り越えるのがとても大変でした。



のぶっ子の熱意が天に通じたのか、予想以上の好天に恵まれ、予定通り運動会を実施することができました。「延方小パワー全開！笑顔も勝利も仲間とともに！」のスローガンのもと、熱き戦いが繰り広げられました。予行練習とは違って、最後まで予断を許さない接戦でしたが、最後は白組が逃げ切りました。一致団結して戦った紅組には応援賞が贈られました。閉会式の後には、各学年ともお互いの健闘をたたえ合い、友情を深めることができました。

本校教諭の窪谷理先生が、辰野千壽（たつのちとし）教育賞を受賞しました。窪谷先生は、理科専科教員として、3年生以上の全学級の理科を担当しています。専門的な授業を展開する傍ら、様々な財団等の研究助成に積極的に応募し、助成金等で本校理科教育のさらなる充実を図っています。以下に上越タイムスに掲載された記事（2024年10月5日付）を転載します。

上越教育大(上越市山屋敷町、林泰成学長)は4日、辰野千壽教育賞の授与式を行った。茨城県潮来市立延方小教諭の窪谷理さん(58)が優秀賞を受賞した。

同教育賞は同大初代学長の故・辰野千壽氏の教育、研究精神を受け継ぐ目的で実施。教育現場での優れた実践研究などを表彰し、支援する。本年度は全国から11人の応募があった。学内審査および学外有識者を含む選考会議による審査で、窪谷さんを優秀賞に決定。最優秀賞と奨励賞は該当者がなかった。

窪谷さんの研究テーマは「身近な自然の教材化とその教育実践～小学校理科専科教員としての取り組み～」。キャベツを育てモンシロチョウやキアゲハの成長過程を観察する、堆肥の山からカブトムシの幼虫を採集するといった校内の自然環境を生かした取り組みを行っている。次年度や次学年への継続、発展性が高く評価された。

窪谷さんは「素晴らしい賞をいただき感謝。今後子どもの心に残る教育実践を進めていく」と喜びの言葉。林学長は「理科少年たちが理科を愛する気持ちを持ったまま大人になることができるよう指導いただきたい」と激励した。

